

社会福祉法人 神戸いのちの電話 事業案内

2021年度事業報告・2022年度事業計画

ごあいさつ

社会福祉法人 神戸いのちの電話
理事長 水野 雄二

世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス COVID-19 感染が日本で確認されてから3年目の春を迎えています。重症化率は小さくなったと言いながら、長く続くこの感染症の影響下に多くの人々が不安や閉塞感を感じ、依然として辛い日々を過ごしています。神戸いのちの電話もその影響を大きく受けた一年を過ごしましたが、引き続き感染予防に努めながらも2022年度の歩みを始めています。

2021年度も、兵庫県、神戸市をはじめ多くの支援団体の皆様、維持・賛助会員の皆様、また相談員、研修委員、役員、評議員の皆様から、私どもの活動に対して、それぞれのお立場で多大なご支援、ご奉仕、ご協力を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

2021年度、兵庫県では実に延べ212日間も「緊急事態宣言」あるいは「まん延防止重点措置」が発令されました。その間、神戸いのちの電話は、コロナ感染予防のために業務時間を短縮せざるを得ない状況となりました。しかし、関係者の感染予防に細心の留意を図りながら、一日も休止せず活動を継続することができました。

全国の統計によると、1998年に自殺者が3万人を超えて以来14年間も3万人を下ることのなかった数が、2012年から10年続けて3万人を下回り、2021年の総数は21,007人(前年比74人減)であったという報告がありました。兵庫県においては前年比28名増の916人でした。特に、生活苦を訴える自殺者が増加しており、長期化するコロナ禍の影響が指摘されています。

2021年度の神戸いのちの電話は年間10,183件の電話相談を受け、昨年より若干増加(235件増)しましたが、活動制限によって受信できなかった多くの悩める人々の存在を認識するものです。これからもコロナ禍による生活困難や健康への不安感は増大することが予想され、憂慮すべき現状です。そして何よりも数字では計れない多くの方々の苦痛や悩みの深さを思う時に、お一人お一人の個別なケースに対応して、私たちの役割は更に大きく求められることと確信しています。

神戸いのちの電話はこのように大きな社会的意義を持つ活動でありながら、継続されるいくつかの課題をもって、日々活動を続けています。目標である24時間365日の電話受信の実現には、まだまだクリアすべき課題があり、深夜帯での電話相談の拡充を目指していきます。そのための相談員の確保、維持、養成には更なる努力が必要です。

若者の電話離れ、SNSへの依存という現象を受け、青少年のネット相談という需要への対応も継続課題です。また、財政の健全化は依然として私たちの大きなテーマです。

このような課題を持ちつつ、私たちにできることは小さなことかも知れませんが、長く大切にしてきた活動を継続し、少しでも悩み苦しむ人々に、特にコロナ禍で苦しむ人々にも寄り添うことができたら、と願っています。

さて、いったいどれだけの年月の連なりがあれば、人はそれを「時代」と呼ぶのでしょうか？ 辞書には「時代」とは「移り変わる時の流れの中で、ある特徴を持つものとして前後から区切られた、まとまった長い年月」であると記されていて、「長い年月」であることが必要なのでしょう。

コロナ禍が始まってから早くも3年目を迎え、今なお(2022年4月時点)感染終息にめどが立たず、繰り返される変異株の恐怖とその対策が報道される中、社会の営みが大きく歪められていることを思うと、これは「コロナ時代」と呼んでも良い年月の連なりではないかと思うのです。加えて、現在進行形のロシアによるウクライナ侵攻もいつ終息するか明瞭でなく、たとえ戦闘は終結しても、これから残された禍根や国際的な分断、またウクライナの復興にも途方もない年月が必要で、これもまたウクライナの侵攻に端を発した「新しい戦争の時代」と呼ぶ年月の始まりではないかと言えないでしょうか。

私たちはこのように時の流れの中で、前後と区分すべき長い年月を「時代」と呼び、その特徴をもって理解しようとする。この「コロナ時代」「新しい戦争の時代」がどのような特徴をもって、世界に、日本に、そして私たちに影響を及ぼすのか、まだその一端しか見えていないのかもしれない。

シンガーソングライターの中島みゆきの代表曲の一つである「時代」。彼女がまだ若い大学生だった時に作ったと言われる曲ですが、幅広い人への応援メッセージとなっています。

「今はこんなに悲しくて
涙もかれ果てて
もう二度と笑顔にはなれそうもないけど

そんな時代もあったねと
いつか話せる日がくるわ
あんな時代もあったねと
きっと笑って話せるわ
だから今日はくよくよしないで
今日の風に吹かれましょう」

と、歌いだす「時代」。そして、

「まわる まわるよ 時代はまわる
別れと出会いをくり返し
今日は倒れた旅人たちも
生まれ変わって歩き出すよ」

と、絶望から再生への励ましの歌となっています。

確かに時代には始まりと終わりがあって、その時代の最中には、特徴的な事象があり、それが幸いなことか、不幸なことかは受け止める人によって異なります。その時代に辛いことばかりを体験した人には、この中島みゆきのメッセージは心に響くものでしょう。不幸な時代もいつかは終わり、新しい時代がまた始まるのだ、と。

「コロナ時代」も「新しい戦争の時代」もいつの日か終わるでしょう。しかし、その終息まで苦難の日々が続き、絶望の淵に立っている人のことを思います。私たちには何ができるかわかりませんが、やがて時代はまわり、再び歩き出す時が来ることを伝えることはできるのではないかと思います。

神戸いのちの電話は皆様のお支えにより、昨年度に開局 40 周年を迎えました。今後もこの活動の維持発展のために、皆様の温かいお励ましとご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2022年度役員			
理事長	水野 雄二	評議員	横山 政夫
理事	濱 浩一		川崎 厚志
	井出 浩		飛田 雄一
	宗行 孝之介		安行 英文
	藤井 薫		井上 真二
	中道 京子		上谷 佳宏
	宮里 哲秀		南部 真理子
監事	山根 泉		高内 憲一
	上杉 徹		石川 益子

※2021年6月から、理事・監事は2年間、評議員は4年間の任期です。

I. 2021年度 事業報告 (2021年4月1日～2022年3月31日)

1. 電話相談活動

名 称	神戸いのちの電話	自殺予防いのちの電話(フリーダイヤル)
電話番号	078-371-4343	0120-783-556
電話相談 時間帯	①月曜～金曜:8:30～20:30(第2、3、4金曜は以下に) ②土曜:8:30～日曜:16:00(連続31時間30分) ③第2、3、4金曜:8:30～土曜～日曜:16:00 (連続55時間30分) ④ 祝日:8:30～16:00 ※緊急事態宣言等による活動時間の縮小は下段に示す	①毎月10日:8:00～ 翌11日:8:00(連続24時間) ②毎日フリーダイヤル(2020年6月～) 全国では16:00～21:00実施、 神戸では月・水・金の16:00～ 20:00に実施 ※以下の数字は①と②の合計
受信件数 2021年度	総数:10,183件(うち深夜帯:797件) 内訳:男性:5,140件、女性:5,043件	総数:1,091件(うち深夜帯:129件) 内訳:男性:472件、女性:619件
上記の 自殺傾向	767件(総数に対する比率:7.5%) 内訳:男性:367件、女性:400件	174件(総数に対する比率:15.9%) 内訳:男性:63件、女性:111件
段階別	念慮:721件、危険:32件、予告通告:13件、実行中:1件	念慮:165件、危険:8件、予告通告:1件、実行中:0件
受信件数 2021年のみ	総数:9,444件(うち深夜帯:591件) 内訳:男性:4,687件、女性:4,757件	1,035件(うち深夜帯:117件) 内訳:男性:451件、女性:584件
上記の 自殺傾向	707件(総数に対する比率:7.5%) 内訳:男性:329件、女性:378件	151件(総数に対する比率:14.6%) 内訳:男性:53件、女性:98件
段階別	念慮:673件、危険:21件、予告通告:12件、実行中:1件	念慮:144件、危険:6件、予告通告:1件、実行中:0件
開局以来の累積受信数	総受信件数 479,910件 (男性:271,544件、女性:208,366件)	
相談員在籍数(4月1日)	141人(男性:18人、女性:123人)	前年:145人(男性19人、女性:126人)

※コロナ禍による活動時間短縮の詳細

期 間	時 間 帯	備 考
4月23日(金)～6月20日(日)	11:45～18:15	緊急事態宣言 (4月23日～6月20日)
(うち土曜日)	11:45～15:00 深夜帯なし	
(うち日曜日)	12:15～16:00	
6月21日(月)～7月11日(日)	8:30～18:15	まん延防止等重点措置 (6月21日～7月11日)
(うち土曜日)	8:30～15:00 深夜帯なし	
(うち日曜日)	8:30～16:00	
7月12日(月)～8月1日(日)	8:30～20:00	まん延防止 解除
(うち土曜日)	8:30～15:00 深夜帯なし	
(うち日曜日)	8:30～16:00	
8月2日(月)～9月30日(木)	8:30～18:15	緊急事態宣言 (8月2日～9月30日)
(うち土曜日)	8:30～15:00 深夜帯なし	
(うち日曜日)	8:30～16:00	
10月1日(金)～	8:30～20:30	宣言解除 平日は従来時間帯に
10月2,9,16日(土曜日)	8:30～18:15 深夜帯なし	
10月22日(金)～	8:30～日曜日 16:00 深夜帯含め全面復旧	

2. 継続研修

※以下の敬称の省略、順不同などご了承ください

対象者	相談員全員(休会者を除く)	人数	117人
構成	11グループ(前年と同じグループにて)		
実施	8月は休止、計11回実施 事例(録音)によるグループ・スーパービジョン、 12~3月のうち1回は自殺予防フリーダイヤル研修を実施		
担当 研修 委員	【】は担当相談員人数(4月当初)	藤井 薫【11】	井出 浩【11】
	本多雅子【12】	戸田みな子【11】	南部真理子【11】
	岡田由美子【11】	原口美佐代【13】	長谷川 泉【12】
振り返りの 会	内容	一年間の振り返り、各継続研修グループ代表と研修委員による協議・反省等	
	日程	3月25日(金)15:00~17:00	
	出席者	研修委員4名、相談員14名、事務局2名 計20名	

3. 各種研修

名称	全体研修ロールプレイ	受講対象者:相談員全員(休会者を除く)117人
内容	自殺予防フリーダイヤル研修;ハンドブックの読み合わせや危機事例のロールプレイ	
日程	12月~3月の継続研修時に1回行う	講師 継続研修担当の研修委員

4. スーパービジョン

目的	電話相談による相談員の心理的負荷へのケア及び相談の振り返りと聴き方の再確認	
	対象者:	希望する相談員
日程	4月から翌年3月まで随時	
実施	24回	
担当	南部真理子、藤井薫、戸田みな子、井出浩、本多雅子(研修委員5名)	
受講者	希望者:のべ24人	

5-1. 養成講座(36期)…仮認定期間(2021年9月1日~2022年3月30日)

日程 内容	オリエンテーション	9月8日・9月15日
	電話実習	期間:4月16日~7月28日、受講生13人、延べ実習回数:74回 モニター(研修委員):藤井、本多、戸田、井出、南部、岡田、岩崎、長谷川
	継続研修	第2水曜日午後、第3水曜日夜間(9月から3月)担当研修委員:本多、藤井
	判定会議	3月17日 担当研修委員:本多、藤井、戸田 認定:10名 3月25日 研修委員会にて認定確定
	認定式	2022年4月16日 総合福祉センター ABC会議室 出席者:理事長、研修委員8名、36期生8名(2名欠席)、相談員56名、事務局5名

5-2. 養成講座(37期)…木曜夜間実施

	面接	9月4日(土)午後、9月5日(日)午後	応募:19人→受講(合格):17人
	講義	9月16日(木) 担当:白石大介 テーマ:いのちの電話はなぜボランティア活動なのか 9月30日(木) 担当:本多雅子 テーマ:電話相談の基本①	
日程	講義	10月28日(木) 担当:都村尚子 テーマ:電話相談の基本②	
	一日研修	9月25日(土)、会場:神戸市総合福祉センター、参加者(養生成):17人 担当者(研修委員):井出、本多 ※一泊研修ができないための代替研修	
	ロールプレイI期	10月7日、14日、21日、11月4日、11日、18日、25日 12月2日、9日、16日、23日、1月13日、20日 受講者17人(途中辞退2人)、担当者(研修委員):本多、藤井、白石、戸田、+アシスタント4人	
内容	講義 II期	1月27日(木) 担当:石川益子(アシスタント) テーマ:実務について 2月3日(木) 担当:井出浩 テーマ:相談員の倫理	
	電話実習(II期)	期間:2月14日~4月13日 受講生15人、延べ実習回数:61回 受講生15人 担当者(研修委員):本多、藤井、白石、戸田、井出、長谷川、岩崎、岡田、南部、阪田	
	グループワーク(II期)	4月14日、21日出席者:研修委員:藤井、本多、戸田、白石 アシスタント4人	
	進級会議(仮認定)	4月21日出席者(研修委員):本多、藤井、白石、戸田、井出、阪田、岩崎 アシスタント4人 事務局2人	進級:13名

6. 公開講座…会場はすべて神戸市総合福祉センター

※当初の予定は8回の連続講座であったが、8月19日は台風による警報発令によって中止 7回の連続講座に変更

名称	『生きづらさの中を生きる(8回連続講座)』【木曜夜間開催】	
7月15日	講師:桃田茉莉、『ストレスとPTSDのケア』	受講:63人
7月22日	講師:藤井美和、『寄り添いに求められるもの』(リモート出演)	受講:53人
7月29日	講師:岡田由美子、『家族の始まりを支える』 多様な家族に寄り添う支援とは	受講:45人
8月5日	講師:関本雅子、『ターミナルケア「看取る」とは』	受講:46人
8月12日	講師:南部真理子、『虐待、その関係性へのおもい』見えにくい生きづらさのなかで	受講:47人
8月26日	講師:白石大介、『人生における危機とその対応』	受講:44人
9月2日	講師:阪田憲二郎『引きこもり・依存症など』 現代の心の病について	受講:46人
名称	“あなたのそばにいます” ~生きることの辛さ悲しさに寄り添う~ ※38期相談員養成講座説明会	
2月26日(土)午後	講師:鍋島直樹、『寄り添うこと~臨床宗教師の育成研修を通して~』	受講:62人
3月5日(土)午後	講師:鍋島直樹、『寄り添うこと~臨床宗教師の育成研修を通して~』	受講:50人

7. 広報活動

広報等の印刷・発送	◎広報80号、6月印刷(2,000部)、7月1日、支援者・関係団体へ発送 ◎事業案内(2021年度版)、6月印刷(1,000部)、7月1日、広報と共に発送 ◎広報81号、12月印刷(2,500部)、12月3日、支援者・関係団体へ発送
学校等へ配布	◎学校関係への配布(広報の発送に合わせて、連盟の自殺防止のポスターと共に、年2回) 兵庫県立高・特別支援学校(220)、神戸市立小・中・高(270)、県内私立小・中・高(100)、 尼崎市立学校(80)、明石市立学校(行政機関を含む)(140)

8. 事務局

内部監査	期日:5月26日(水)午後、事務局、山根・上杉両監事による(理事長、会計顧問立会い)
資産登記	期日:6月14日(月)午後、神戸地方法務局
行政監査	期日:10月20日(水)午後、神戸市福祉局監査指導部による(理事長立ち合い)

9. 日本いのちの電話連盟関係行事

2021年度日本いのちの電話連盟定時社員総会	6月25日(金) オンライン開催 水野理事長参加
2021年度日本いのちの電話連盟全国事務局長会議	6月26日(土) オンライン開催 宮里事務局長参加
2021年度日本いのちの電話連盟全国研修担当者会議	6月16日(水) オンライン開催 藤井、戸田研修委員参加
中部・近畿ブロック会議	1月17日(月)、岐阜センター主催、オンライン開催、水野理事長、宮里事務局長、参加
電話事業委員会	11月1日、1月29日、3月14日 オンライン開催 宮里事務局長、参加

10. 自殺対策会議

兵庫県自殺対策連絡協議会	8月4日(火)午後、ラッセホール、正岡元事務局長代理出席
--------------	------------------------------

11. 委員会・部活動

委 員 会	理事会	【5回】5月28日(書面評決)、6月23日(書面評決)、10月1日(青少年会館)、12月17日、3月18日
	評議員会	【2回】6月15日(定時)、3月18日
	評議員選任・解任委員会	【1回】6月1日
	運営委員会	【6回】4月28日(書面評決)、6月30日9月7日、11月16日、1月18日、3月11日
	研修委員会	【7回】4月27日、6月2日、8月2日、9月13日11月29日、1月31日、3月25日
	相談員委員会	【11回】4月12日、5月10日、6月14日、7月12日、9月6日、10月4日、11月8日、12月6日、1月12日、2月14日、3月14日
	広報委員会	【4回】5月20日、9月10日、10月22日、2月28日
	ハンドブック改訂ワーキンググループ	【4回】4月14日、4月28日、5月26日、6月16日
	財務委員会	【1回】3月4日
	統計小委員会	【4回】5月20日、9月10日、10月22日、2月28日

相 談 員 の 会 部 活 動	事業部	部会1回、バザーは中止、相談員向けの物品販売→収益を法人に寄附
	相談業務部	部会5回、交流会オンライン開催、環境づくり、資源台帳の更新など
	紫陽花編集部	部会12回、内部広報紙『紫陽花』の編集・発行、毎月
	24時間委員会※1	部会8回、自主研修は中止、24時間化・当番空き枠への取組み
	財務部※2	部会3回、外部広報誌、寄付領収書発送の手伝い、寄付依頼の発送
	広報部※3	部会3回、外部広報誌の編集・発送
	イベント部	部会2回、イベントは中止

※1 正式名称は24時間眠らない電話小委員会、※2 財務委員会に参加、※3 広報委員会に参加

12. その他の活動

近畿ブロック合同研修会 (JR西日本あんしん社会財団後援)	1月26日(水)午後、神戸担当オンライン開催、研修委員、相談員16名参加、近畿7センター合計46名参加
----------------------------------	---

Ⅱ. 2022年度事業計画

「神戸いのちの電話」は、多くの方々ご支援によって開局40周年を迎えることができました。

新型コロナウイルス感染症の拡大は、変異株のまん延により2021年も収まりを見せず、社会不安や閉塞感是人々の生活に幾重にも影を落としたままです。これまで、「いのちの電話」を含む官民協力の自殺予防対策によって年間自殺者が2万人を切る所まで来ていましたが、そのことによりまた増加傾向になり2021年度はわずかに減少しましたが、自殺未遂者の数は数十倍とも言われるようになり、生活苦や人間関係の希薄化による、女性や若者の占める比率は増える傾向は続いています。俳優や著名人の自殺が続くたびに、「いのちの電話」の番号が流れて活動は注目されていますが、相談員自身の感染を防ぐためには電話相談活動の時間を時間短縮せざるを得ない時期もあって、電話総受信件数は減少しました。

このような状況を踏まえ「神戸いのちの電話」は、2022年度は次の事項を重点に取り組んでいきます。

- ◎ 深くこころの悩みをかかえる人々に寄り添うために、出来るだけ早く電話相談体制をコロナ禍以前の状態に戻して、公開講座や相談員養成講座は感染対策を徹底して計画通り開催する。
- ◎ 電話相談体制の充実を進めるために、相談員数の増加を図る。そのために相談員の負担を軽減することや、新任相談員のサポート体制を整える。大学生や大学院生の相談員養成講座の受講を進め、神戸での活動だけにとどまらず、「いのちの電話」の活動を支える若い相談員の増加を図る。
- ◎ 相談員のスキルアップ、心のケアなど支援体制を充実する。実際の電話相談に則した継続研修を行い、相談員の悩みの軽減に向けての仕組みを充実する。ハラスメント研修を開催して構成員相互の信頼できる関係を維持し、それによってコロナ禍の収束後には、電話相談時間帯の拡大や、24時間365日の活動実現を目指す。

以上の重点事項にもとづいて、以下個別に具体的な活動を進めていきます。

1. 電話相談事業

- ① 電話相談時間は、平日・土曜日の12時間(8:30～20:30)、日曜日・祝日は7.5時間(8:30～16:00)とする。第2、第3、第4金曜日と毎週土曜日には深夜帯(20:30～8:30)の電話相談活動を行い、毎週金曜日の深夜帯実施へ向けての検討を進め、24時間365日の電話相談活動の実現を目指す。
- ② 「日本いのちの電話連盟」による毎月10日のフリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」は、24時間(8:00～翌朝8:00)を継続して受信し、2020年より始められた「毎日フリーダイヤル」の受信も継続して実施する。
- ③ 相談員の電話当番予約はインターネット化を進め、活動時間帯の変更などに対応できるようにシステムを更新するほか、急な電話当番キャンセルに即応できる「空き枠緊急連絡網」の活用によって、電話当番不在時間の防止に努める。

2. 相談員養成充実と相談員の増員

- ① 36期の「相談員養成講座」は前年度末に終了して10名の新相談員が認定された。37期の「相談員養成講座」は4月に仮認定となり、1年間のインターン期間を経て2023年4月に認定となる予定。
- ② 5月から8回開催する公開講座は土曜日午前中(1回のみ午後)に開催して、続く38期の養成講座は7月初めに応募面接を経て、第I期講義、第II期ロールプレイ研修を毎週木曜日夜間に実施する。
- ③ 休会や退会した相談員の「復帰プログラム」を周知して、復帰促進を図る。新相談員の電話相談活動への定着を図るために、相談員の心のケアのスーパービジョンを認定1年後に定例実施するなど、新相談員のサポート体制を充実させる。
- ④ 若い相談員(学生を含む)の育成を進めるために、大学の心理学科などに公開講座の案内、相談員養成講座の募集要項を送り、学生には養成講座の受講料軽減など方策を図る。

3. 相談員研修の充実

- ① 相談員のスキルアップと心のケアのために、必修の12グループによる「継続研修」(37期仮認定後は14グループ)を毎月実施する。
- ② 「全体研修」(必修)はコロナ禍を考慮して実施することを検討し、フリーダイヤル研修は継続研修において実際の電話相談に即してロールプレイ研修を交えて実施する。
- ③ 相談員の心のケアのために「スーパービジョン」を勧め、電話相談活動による心の負担を軽減して相談員をサポートする。
- ④ 統計小委員会による電話相談内容の調査研究を推進して、その成果を研修に活用する。
- ⑤ 実際の相談電話に則した継続研修を行い、聴く力の向上や緊急対応への共通理解の形成を目指す。
- ⑥ 研修委員の一日研修を行い、情報の共有と相談員の資質向上を進める。

4. 事業資金の確保

- ① 兵庫県、神戸市の公的補助金やJR西日本あんしん社会財団などの助成金の申請を的確に行い、財政基盤を確実にする。
- ② 維持会・賛助会の会員制度の整備を進めて、会費の確保、財政増収を図る。
- ③ 積極的な広報活動を展開して寄付金の増額に努め、税額控除制度の適用になることを周知する。
- ④ 法人財政の健全化を進める。

5. 相談員の会の活動の活性化

- ① 相談員の会執行部を中心として、相談員相互の助け合い、継続研修グループでの支え合い(心のケア)を強化する。
- ② 相談員委員会を通じて、各部・委員会の相互協力を進め、継続研修グループとの関係を深める。
- ③ 相談員委員会を通じて、フリーダイヤルや深夜帯の電話当番への参加を促し、空き枠の解消を図る。

6. 広報・啓発活動

- ① 広報誌やホームページの内容を充実して、活動への理解や支援を呼び掛ける。
- ② 広報誌やリーフレットを、より多くの団体や個人に配布して、活動への理解や支援を呼び掛ける。
- ③ 公開講座の開催や諸団体への講師派遣などにより、活動への理解や支援を呼び掛ける。

7. 自殺予防のための特別事業(厚生労働省補助事業フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」)

- ① 毎月10日のフリーダイヤル(24時間)及び「毎日フリーダイヤル」(16:00~20:00)に継続して参加する。
- ② フリーダイヤル・ロールプレイ研修を全相談員に必修とする。

8. 兵庫県・神戸市の自殺対策の会合への委員の派遣

- ① 兵庫県自殺対策連絡協議会
- ② 神戸市自殺対策推進懇談会

9. その他

- ① ハラスメント防止規程を順守して、法人構成全員に浸透するように研修を行う。
- ② 開局40周年記念事業としての記録集を発行する。

Ⅲ. 資金ボランティア、補助金など

☆資金ボランティア

【維持会費・賛助会費・一般寄付】

会費や寄付を頂いた方々のお名前、団体名は個人情報の保護の考え方から、記載を取りやめさせていただきます。ご了承ください。

年度	2017	2018	2019	2020	2021	
維持会費 (円)	1,136,000	1,273,000	1,200,000	1,289,000	1,201,000	(264件)
賛助会費 (円)	290,000	710,000	390,000	320,000	450,000	(22件)
一般寄付 (円)	2,520,936	2,107,850	2,018,039	3,067,922	2,804,386	(228件)

【広告掲載(外部広報)】

年度	2017	2018	2019	2020	2021
件	13	15	16	15	14

☆2021年度補助金などの内訳

行政団体からの補助金	金額	対象活動・項目
兵庫県(いのち対策室)	3,000,000	電話相談活動全般の維持費、継続研修経費
神戸市(精神保健福祉センター)	1,500,000	養成講座経費、深夜帯・FD担当の交通費
兵庫県社会福祉協議会 (ひょうごボランティア-基金友愛事業)	101,000	相談員の部活動の交通費、事業案内の印刷費、
民間団体からの補助金		
JR西日本あんしん社会財団	1,000,000	相談員の心のケア(SV、研修委員による)、 コロナ対策、環境整備費用
県共同募金会(歳末助け合い)	150,000	12月外部広報発送費、広報物品経費
有園博子基金 活動・研究助成	1,000,000	相談員の研修費の代替充当、ボランティア保険費用
日本財団	2,493,572	電話相談活動に必要な備品

IV. 2021年度収支決算書並びに2022年度予算書

(単位:円)

【事業活動による収支】

	項目	2021年度予算	2021年度決算	2022年度予算
収入	事業(養成講座等)収入	948,000	957,000	700,000
	補助金・助成金収入	9,365,000	9,871,952	6,800,000
	一般寄付収入	2,335,000	2,804,386	1,800,000
	部活動等からの収入	125,000	120,000	200,000
	維持・賛助会費収入	1,618,000	1,651,000	1,600,000
	雑収入	277,000	307,709	200,300
	収入計	14,668,000	15,712,047	11,300,300
支出	人件費	4,287,180	4,454,056	3,410,300
	事業費	8,379,919	9,118,604	7,690,000
	事務費	198,000	198,000	200,000
	支出計	12,865,099	13,770,660	11,300,300

※2021年度予算は年度当初予算ではなく、年度末に理事会・評議員会で承認された補正予算です。

【施設設備による収支】

収入		0	0	0
支出	固定資産取得支出	0	1,151,931	0

【その他の活動による収支】

収入	積立資産取崩収入	0	440,220	0
支出		0	0	0

【事業活動以外による収支の計】

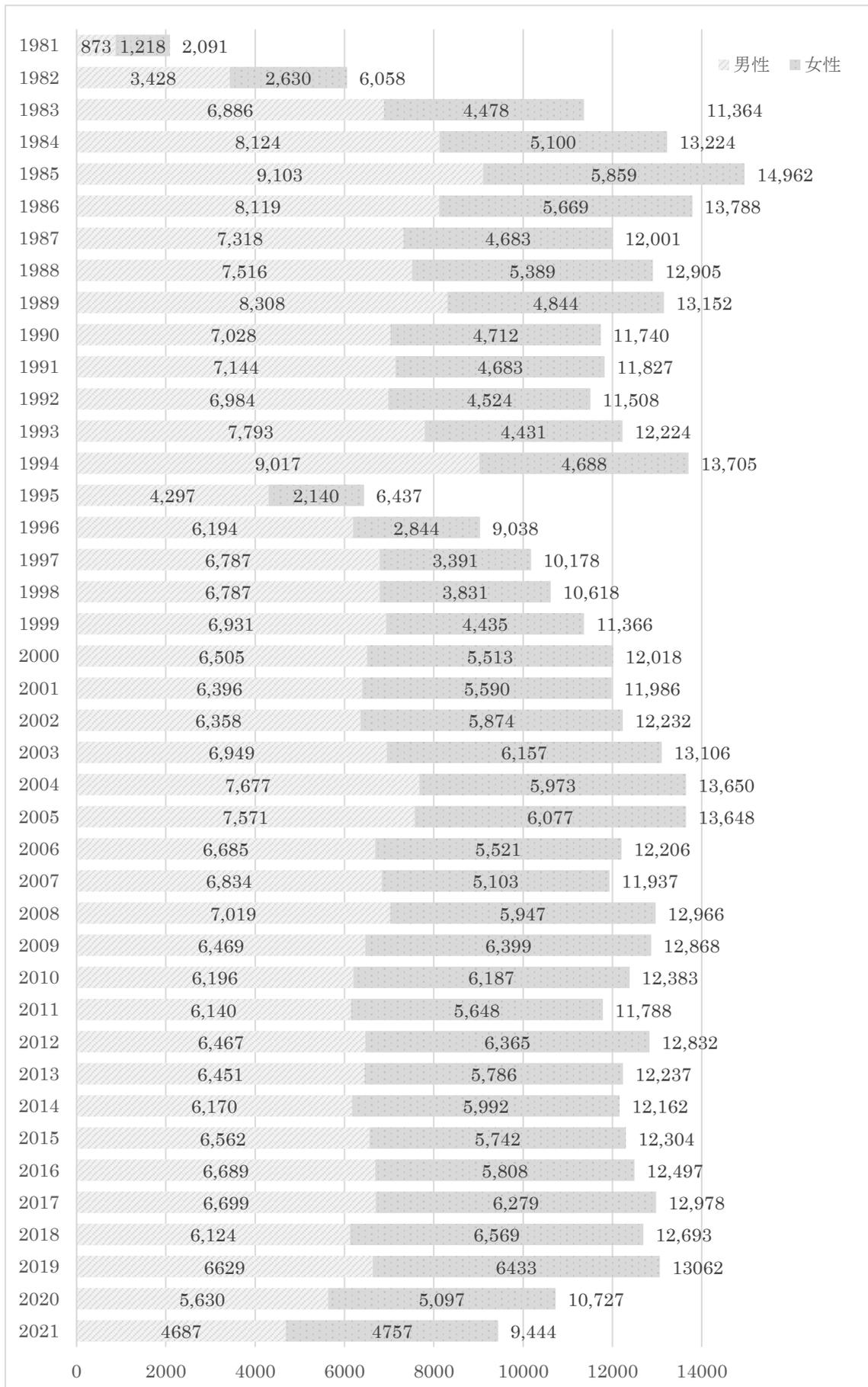
	0	△711,711	0
【当期末支払資金残高】	14,306,153	13,732,928	13,732,928

☆後援会メンバー

会長	雀部昌吾(バンドー化学)	世話人	藤尾益也(神明)
副会長	中道基夫(神戸YMCA)	〃	高嶋良平(高嶋酒類食品)
世話人	瀧川博司(兵庫トヨタ)	〃	下村俊子(神戸風月堂)
〃	寺本 督(淡路屋)		

V. 2021年神戸いのちの電話統計

年間総受信件数の推移(1981~2021年)



累計 男性 271,544 件 女性 208,366 件 合計 479,910 件

発行年月	2022 年 6 月
発行者	社会福祉法人 神戸いのちの電話
発行責任者	理事長 水野雄二
住所	〒650-8691 神戸支店郵便私書箱 1103 号
電話／FAX	078-371-4405／078-371-4355
E-mail	kind4343@viola.ocn.ne.jp
公式 Web サイト	https://kobe-lifeline.org